

図面誤記の検出は検図ではない! ポカミス防止で真の検図を学ぶ

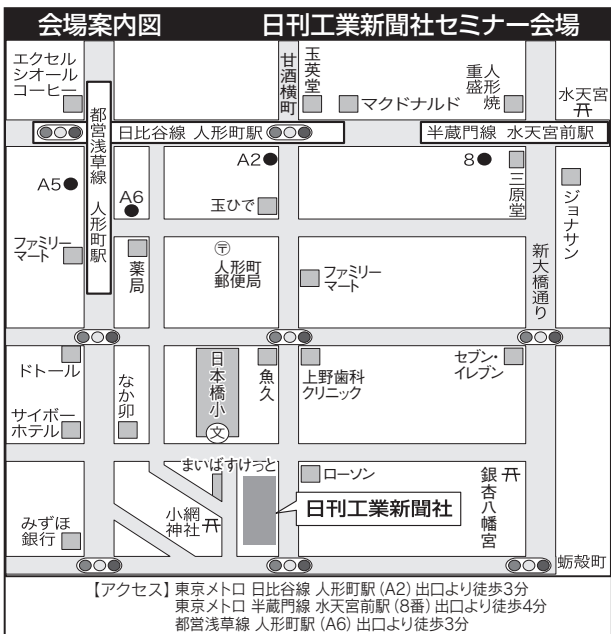
このようなことが学べる講座です
日々の業務で「使える」軽くて簡単な「電卓レベルのポカミス防止策」、機能面・生産面での問題検出をする「検図」技術を実習を通じて学びます

日時 2020年 **1月14日(火)** 10:00~17:00
(9:30 受付開始、休憩 11:45~12:45)

主催  **日刊工業新聞社**

会場 **日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム**
東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 **44,000円** (資料含む、消費税込)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円
※後日、別の方が追加で申込をされる際は、備考欄に先に申し込まれた方のお名前と複数割適用希望と記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となります。予めご了承ください)



日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
㈱日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 総合事務局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講 申込書

1/14 検図

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

●受講料：44,000円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名	フリガナ		業種	
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL	
			FAX	
所在地	〒		E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。
備考				

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.190443

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

技術者に今すぐに必要なものは、軽くて簡単な「電卓レベル」のポカミス防止策と最終関門である検図、その能力の向上と検図システムの構築です。そこで、日々のポカミス防止活動と日々の検図行為が、実は、社告・リコールなどのトラブル防止策に繋がることを本セミナーで学びます。

また、目前に迫ってきた「図面レス」時代。図面がない状況での検図のあり方を解説します。本セミナーは、以下のコンセプトで進行します。

- ① 商品企画⇒設計⇒設計審査⇒検図⇒試作⇒量産まで、商品設計・生産設備設計の全域に渡ってポカミス防止策を指導する。
- ② 日々のポカミスを予防する方策、および技術者の最終関門となる「検図」の効果的なやり方を個人演習を通して解説する。

本セミナーのコンセプト

- ・ 真の検図方法を習得する。
- ・ 日々のポカミス防止が、社告・リコールを防止する。
- ・ 図面がない「図面レス時代」に備えた検図方法を習得する。

※本セミナーを受講される方には、講師著書「ついてきなあ！設計のポカミスなくして楽チン検図」（日刊工業新聞社刊）を、セミナー当日、無料進呈いたします。

受講対象者

・ 機械系の全技術者 ・ 研究/開発/設計/生産/品質管理/調達などのすべての部門 ・ 新人/ベテラン問わず
個人実習をふんだんに含めることにより、理解度を深めます。

講師

国井技術士設計事務所 所長／技術士（機械部門：機械設計/設計工学）
日本技術士会 機械部会／横浜国立大学 大学院工学研究院 非常勤講師
首都大学東京 大学院理工学研究科 非常勤講師／山梨大学工学部 非常勤講師
山梨県工業技術センター 客員研究員／高度職業能力開発促進センター運営協議会 専門部会委員

国井 良昌 氏

【略歴】 横浜国立大学・工学部・機械工学科卒。日立、及び、富士ゼロックスの高速レーザープリンタの設計に従事。富士ゼロックスでは、設計プロセス改革や設計審査長も務めた。1999年より、国井技術士設計事務所として、設計コンサルタント、セミナー講師、大学非常勤講師として活躍中。

プログラム

第1章 設計のポカミス撲滅でトラブルを防止する

- 1-1 ポカミスなくしてトラブル撲滅
- 1-2 ポカミスをなくす道具たち

第2章 企画段階におけるポカミス防止

- 2-1 企画プロセスにおけるポカミス
- 2-2 6W2HのA4一枚でポカミス防止

第3章 設計段階におけるポカミス防止で後戻りを回避する

- 3-1 設計プロセスにおけるポカミス
- 3-2 設計段階のポカミス防止は日々の活動にあり

第4章 試作段階におけるポカミス防止でトラブル再発防止

- 4-1 試作プロセスにおけるポカミス
- 4-2 重し付けの試作評価がポカミスをなくす

第5章 ここまでくれば楽チン検図ができる（機能検図編）

- 5-1 検図は技術者最後の砦（とりで）
- 5-2 事例：手動鉛筆削り器の機能検図を実体験する

第6章 図面レス時代を迎えた検図（生産検図編）

- 6-1 生産検図を理解する
- 6-2 事例：鉛筆削り器の回転刃用フレームの生産検図

第7章 企業の壁を越えた検図の情報交換会

- 7-1 課題抽出
- 7-2 実行できる解決策の抽出
- 7-3 発表